

一般社団法人 福岡音楽大学設立の会

第8回

バリアフリー新春コンサート 2023



Satomi Kuxita

Carmen Aparicio

Koh Matsua

Momoko Mena

Kasuga Symphony Orchestra

N Barrier-free New year Concert



2023. 2. 4. <Sat.> 14:00 開演
[13:20 開場]

電気ビル共創館 みらいホール

【TEL】0120-222-084 福岡市中央区渡辺通2丁目1-82

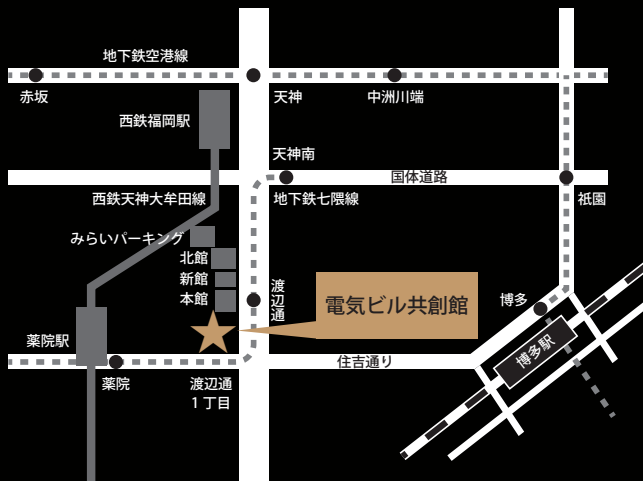
※会場では入場者数を制限するなど、コロナ感染対策を徹底しています。

- 曲目
- プッチーニ/歌劇「トスカ」より「歌に生き、恋に生き」、他
 - メンデルスゾーン/ヴァイオリン協奏曲ホ短調第1楽章
 - ヨハン・シュトラウス/喜歌劇「ジプシー男爵」より「入場行進曲」、他
 - ヨハン・シュトラウス/ワルツ「芸術家の生涯」、他
 - 楽器紹介コーナー、指揮体験コーナー
- ※曲目は変更されることがあります。

主催：一般社団法人福岡音楽大学設立の会
 協力：電気ビル共創館みらいホール、春日交響楽団
 ラテン文化センター TIEMPO
 福岡国際オペラフェスティバル実行委員会
 問合せ：092 - 935 - 8621(事務局)

入場無料

ご招待者のみ



一般社団法人福岡音楽大学設立の会の活動

「もし福岡に音大があれば・・・」。音楽を学ぶ多くの子供や中・高校生が、音楽家への道を志しながら断念している状況が、ここ福岡で何十年も続いています。

そこで私たちは、平成26年に「今こそ福岡に音楽大学を！」を合言葉に音楽大学設置を目標に活動してきました。同時に、音楽のすそ野を広げる活動の一環として、どなたでもクラシック音楽を楽しむことのできる「バリアフリーコンサート」を毎年開催してまいりました。芸術音楽の素晴らしさに触れていただき、一緒に音楽大学の必要性を考えていただけますと幸いです。

〈出演者プロフィール〉

◆ CARMEN APARICIO カルメン・アパリシオ (ソプラノ/スペイン)

スペインのマドリッド生まれ。1987年マドリッドの歌劇場で世界的大テノール歌手アルフレード・クラウスと「リゴレット」ジルダ役でデビュー。その成功により「修道女アンジェリカ」、「フィガロの結婚」、「愛の妙」に出演。1990年、ホセ・タマヨ指揮 ANTOLOGÍA DE LA ZARZUELA の一員として、イスラエル、日本、アメリカ、ラテンアメリカなど、世界各国にてモンセラ・カバリエ、プラシド・ドミンゴ、アルフレード・クラウス、ルイス・リマといった世界的アーティストと共演。アリアーガ劇場にて「ラ・ボエーム」ミミ、カタニアのベッリーニ劇場にて「カルメン」ミカエラで出演。1993年、フランシスコ・ピニャス・コンクールで入賞。奨学金を得て、シエナのキジアーナ音楽院にてカルロ・ベルゴンツィに師事。その後は、ビゼーの「カルメン」ミカエラ、スペイン全土での「ドン・パスクアレ」ノリーナで出演。2003年「ラ・ボエーム」のミミでは、その優れた歌唱と演技力が絶賛され、スペイン各都市で繰り返し上演され成功を収めた。その後も「マノン」「椿姫」「蝶々夫人」「アイダ」「アドリアーナ・ルクブルール」「オテロ」「ドン・カルロ」等で主要な役を務める。2009年ローマにおけるセルジョ・オリヴァ指揮「トスカ」、2010年「椿姫」ヴィオレッタ、2011年「オテロ」のデズデモナ、「ドン・カルロ」エリザベッタ、2016～2017年のリスボンおよびマドリッドでの「蝶々夫人」に出演。いずれも大好評を博した。豊かな声と格調高い歌唱、美しい舞台姿でスペインオペラ界の実力者として活躍中である。

◆ MOMOKO MENO 目野 萌々子 (ヴァイオリン)

2006年9月28日生まれ16歳。5歳よりヴァイオリンを始める。第72回全日本学生音楽コンクール北九州大会奨励賞、第14回ベートン音楽コンクール全国大会第4位。国際コンクール String avenue Yang Artist solo 部門第1位ヴァニフスキーベストパフォーマンス賞受賞。第43回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール全国大会にて奨励賞受賞アンペレーナ百道にて姉妹でフロアコンサートを行う。福岡音楽大学設立の会主催「2022バリアフリー新春コンサート」において、栗田哲海指揮・春日交響楽団と共演し好評を博した。松岡祐美、景山誠司 各氏に師事。現在福岡雙葉高校1年生。

◆ KOH MATSUO 松尾 興 (バリトン)

長崎県立佐世保北高等学校、国立音楽大学声楽科卒業。西日本新人紹介演奏会本選にて「福岡音楽文化協会賞」（声楽部門最高位）、国際コンクール下関「審査委員長賞」、飯塚新人音楽コンクール入賞、ザルツブルク・モーツアルテウム国際声楽コンクールファイナリスト。オペラ出演は歌劇「真間の手古奈」行役、歌劇「フィガロの結婚」伯爵役、歌劇「海の子守歌」老人役、歌劇「ドン・ジョヴァンニ」主役及び騎士長役をはじめ、東京・名古屋・広島・福岡・長崎・熊本にてオペラハイライト歌劇「オテロ」ヤーゴ役、歌劇「椿姫」ジェルモン役、歌劇「トロヴァトーレ」ルナ伯爵役、歌劇「カルメン」エスカミーリョ役、歌劇「フィガロの結婚」主役、歌劇「リゴレット」主役、歌劇「トスカ」スカルピア役を演じた。'96にはサルザーナ歌劇場（伊）にて歌劇「リゴレット」主役、ユーロフィルとのコンサートに出演。その後、ポルトフィーノ、サンタ・マルゲリータ・リグレ、アルペン国際音楽祭、インペリア等、イタリア各地で出演。また、ベートーヴェン「交響曲第九番」、ヘンデルメサイヤ、バッハカンタータ、モーツァルト戴冠ミサ等にソリストをはじめ、九響とのコンサートや各地のオーケストラ等と共演。リサイタル・ジョイントリサイタルは40回を超える。福岡音楽大学設立の会副会長、福岡国際オペラフェスティバル代表、福岡大学附属大濠高等学校音楽教諭。

◆ SATOMI KURITA 栗田 哲海 (指揮)

1973年福岡教育大学音楽科を卒業。指揮を渡辺暁雄、安永武一郎に師事する。1979年第14回民音指揮者コンクール（現：東京国際音楽コンクール）第三位入賞。その後、九州交響楽団をはじめ、東京都響、大阪フィル、名古屋フィル、西日本フィル、札幌響、新生日響、広島響などで指揮。また1985年には韓国大邱直轄市交響楽団を指揮する。1986年から88年にかけて北九州交響楽団の常任指揮者を務める。また、西日本オペラ協会とビゼーの歌劇「カルメン」、フンパーディンクの歌劇「ヘンゼルとグレーテル」、広島市民オペラとヴェルディの歌劇「椿姫」、プッチーニの歌劇「外套」、ガーシュインの歌劇「ボギーとベス」ハイライト等を指揮し、好評を博す。現在福岡を中心に九州交響楽団、周南フィルハーモニー、宗像シンフォニックウィンズ、混声かすが合唱団等の指揮者として管弦楽、室内楽、オペラ、合唱、吹奏楽など幅広く活躍している。1994年より春日交響楽団の常任指揮者に就任。

◆ KASUGA SYMPHONY ORCHESTRA 春日交響楽団 (シンフォニーオーケストラ)

春日交響楽団は、市民とともに春日市の音楽文化向上に寄与することを目的として1994年に発足。プロ音楽家の指導を受けながら、主催演奏活動、市および他団体との共演、音楽鑑賞教室など幅広い演奏活動を展開。年一回の定期演奏会（6月）では、メインの交響曲演奏に加えて、ピアノ・ヴァイオリン・チェロ・ホルンなど国内外で活躍するソリストと協演し、聴衆の喝采を浴びている。クリスマスコンサート（12月）では、一般市民から合唱団員を募集してベートーヴェンの交響曲「第九」をはじめ、モーツァルトのミサ曲の合同演奏、著名な歌手を招聘してのオペラアリアコンサートなどを開催し、地域に親しまれている。約60名の団員は学生から社会人まで幅広く、老若男女のハーモニーで更なる飛躍を目指している。2022年11月春日市制50周年記念式典にて、長年の貢献に対する表彰を受賞する。